

市民交流プラザ事業部



撮影：ワイズフォトセレクション 木本忍

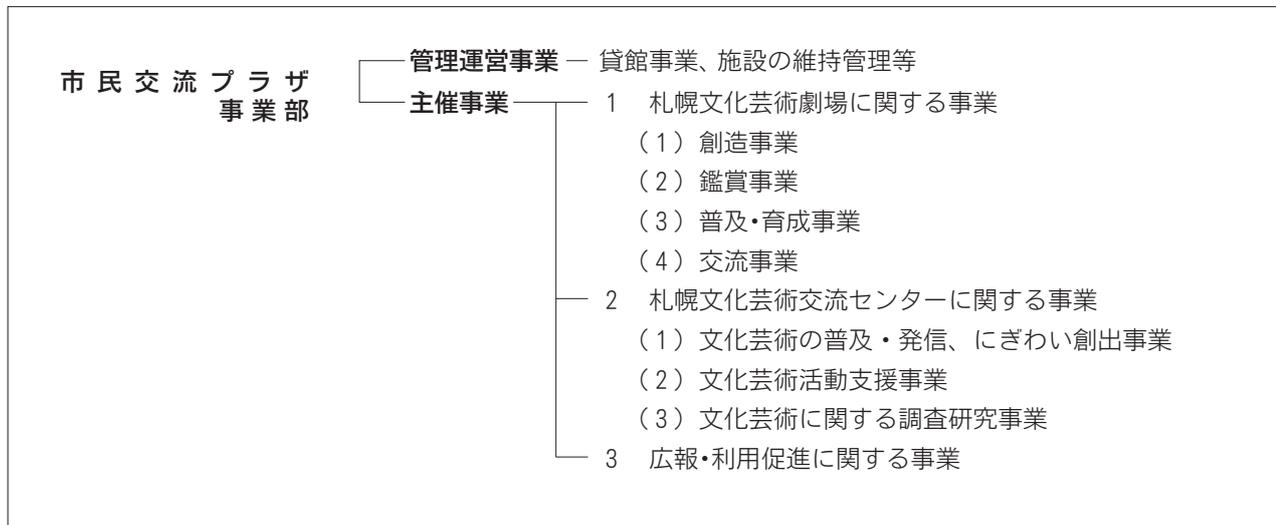
新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」
令和2年11月14日（土）・15日（日）

市民交流プラザ事業部

事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系



管理運営事業

○札幌市民交流プラザ利用状況

			平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	91.8%	72.6%	58.4%
		利用料金収入	80,259,330円	168,185,042円	57,151,830円
	クリエイティブスタジオ	利用率	96.2%	82.4%	53.5%
		利用料金収入	7,241,180円	20,323,723円	9,232,020円
練習室等	利用率	60.4%	63.1%	51.8%	
	利用料金収入	2,914,300円	7,795,350円	5,602,250円	
札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等)		利用率	90.6%	80.9%	65.4%
		利用料金収入	3,955,200円	11,570,980円	6,822,530円
利用料金収入合計			94,370,010円	207,875,095円	78,808,630円
総入場者数			420,731人	738,190人	148,656人
総来館者数(札幌市図書・情報館含む)			1,129,107人	1,693,326人	630,647人

※平成30年10月7日開館

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月23日～3月31日までの主催事業を原則中止または延期、4月14日～5月31日まで臨時休館し、貸館事業を中止、主催事業を中止または延期とした。

※令和2年2月23日～6月30日、11月17日～令和3年2月28日、3月27日～5月14日における貸館利用取消に対する返金を行った。

※利用料金収入には、利用取消手数料収入を含まない。

【参考】

平成30年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上) : 60.4%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和元年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

主 催 事 業

札幌文化芸術劇場に関する事業

1 創造事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、国内の劇場や地元芸術団体との共同制作など「創造の場」として、札幌発のオペラやバレエ等の舞台芸術を展開し、市民が質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。

①hitaru オペラプロジェクト

プレ公演「蝶々夫人」

新規

地元の人材を結集し、オペラ作品を創造・発信する hitaru オペラプロジェクトのプレ公演を実施した。幕末から明治にかけての時代の波に翻弄されつつも、武士の娘としての誇りを胸に、愛するものへの「誠」を貫き通した一人の日本人女性の姿を描く、ブッチャーニ作曲「蝶々夫人」を上演した。



撮影：高橋勇弥

期 日：令和3年2月21日（日） 開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、一般社団法人北海道二期会

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、株式会社北海道新聞社、北海道テレビ放送株式会社、札幌音楽家協議会、NPO 法人北海道国際音楽交流協会（ハイメス）、北海道日伊協会、株式会社ヤマハミュージッククリテイリング 札幌店

助 成：独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人花王芸術科学財団、公益財団法人道銀文化財団、公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団、一般社団法人北海道ライブ・エンタテイメント連絡協議会

協 力：LC アルモーニカ、札幌オペラシンガーズ

札幌大谷大学、北海道教育大学岩見沢校

演 出：岩田達宗

出 演：柴田真郁（指揮）

佐々木アンリ（蝶々夫人）

岡崎正治（ピンカートン）

今野博之（シャープレス）

荊木成子（スズキ）

西島厚（グロー）

岡元敦司（ヤマドリ公）

大久保光哉（ボンゾ）

東園己（ケイト・ピンカートン）

宮前暢明（ヤクシデ）

中原聡章（神官）

葛西智一（役人）

桑島昌子（蝶々さんの母）

伊藤希代子（蝶々さんの叔母）

尾谷美奈子（蝶々さんの従妹）

岡元エレン（蝶々さんの子）

北海道二期会合唱団（合唱）

札幌交響楽団（管弦楽）

入場料：全席指定

SS席14,000円 S席12,000円 A席10,000円

B席8,000円 C席6,000円 U25(C席)3,000円

入場者数：972人

< 関連事業 >

hitaru オペラプロジェクト プレ公演「蝶々夫人」

出演者オーディション

令和3年2月21日（日）に上演する hitaru オペラプロジェクト プレ公演「蝶々夫人」に参加する出演者を募集し、6月7日（日）に動画審査を行った。

期 日：令和2年6月7日（日）

会 場：控室405、控室406

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、一般社団法人北海道二期会

募集人数：12人

（ピンカートン、グロー、ボンゾ、ヤマドリ公、ケイト、ヤクシデ、神官（役人）、蝶々さんの母、カバーキャスト）

審査員：柴田真郁（指揮者）、岩田達宗（演出家）

石井正治（札幌市民交流プラザ館長）

三部安紀子（北海道二期会理事長）

参加料：無料

応募者数：7人

市民交流プラザ事業部

主催事業

<関連事業>

hitaru オペラプロジェクト

プレ公演「蝶々夫人」関連企画

マダム・バタフライの素顔

～原作と音楽から考えるその現代性～ **新規**

hitaru オペラプロジェクト プレ公演「蝶々夫人」に先立ち、関連イベントとして、わかりやすいお話とともにアリアの生演奏を交えながら「マダム・バタフライ」を紹介した。



期 日：令和3年1月22日（金） 開始19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、一般社団法人北海道二期会

出 演：千葉潤（お話、札幌大谷大学教授）
佐々木アンリ（ソプラノ、蝶々夫人）
岡崎正治（テノール、ピンカートン）
伊藤千尋（ピアノ）

入場料：全席指定 1,000円

入場者数：75人

<関連事業>

公演チケット購入者限定

「蝶々夫人」リハーサル見学

hitaru オペラプロジェクト プレ公演「蝶々夫人」の関連イベントとして、市民交流プラザメンバーズ会員を対象に、本番前のリハーサル見学会を行った。

期 日：令和3年2月19日（金）開演17:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、一般社団法人北海道二期会

演 出：岩田達宗

出 演：柴田真郁（指揮）

佐々木アンリ（蝶々夫人）

岡崎正治（ピンカートン）

今野博之（シャーププレス）

荊木成子（スズキ）

西島厚（ゴロー）

岡元敦司（ヤマドリ公）

大久保光哉（ボンゾ）

東園己（ケイト・ピンカートン）

宮前暢明（ヤクシデ）

中原聡章（神官）

葛西智一（役人）

桑島昌子（蝶々さんの母）

伊藤希代子（蝶々さんの叔母）

尾谷美奈子（蝶々さんの従妹）

岡元エレン（蝶々さんの子）

北海道二期会合唱団（合唱）

札幌交響楽団（管弦楽）

入場料：無料

入場者数：67人

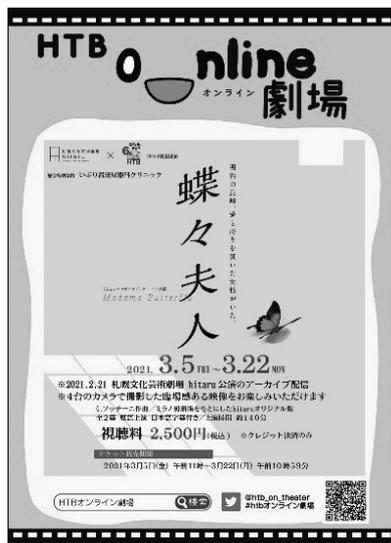
< 配信事業 > 【有料アーカイブ配信】

hitaru オペラプロジェクト

プレ公演「蝶々夫人」

新規

hitaru オペラプロジェクト プレ公演「蝶々夫人」を4台のカメラにより収録・編集し、北海道テレビ放送による配信プラットフォーム「HTB on ライン劇場」にて有料配信を行った。



配信日時：令和3年3月5日（金）～22日（月）

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、一般財団法人北海道二期会

特別協賛：いぶり腎泌尿器科クリニック

映像制作：北海道テレビ放送株式会社

視聴料金：2,500円

視聴数：260回

2 鑑賞事業

劇場の多面舞台と最新の舞台機能を活かし、国内外トップクラスのオペラ、バレエなど本格的舞台芸術による「鑑賞の場」を多彩な内容で広く市民に提供した。

①ヨハン・シュトラウス二世

オペレッタ「こうもり」

新規

美しいワルツやポルカ、小粋で品のある風刺やユーモアが溢れるオペレッタの最高傑作「こうもり」を上演した。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じ、演出の一部を変更して実施した。



撮影：武田博治

期 日：令和2年12月13日（日）、15日（火）

開演各日14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌市、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市教育委員会

助 成：令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

演 出：ハインツ・ツェドニク

出 演：クリストファー・フランクリン（指揮）

ダニエル・シュムッツハルト（ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン）

アストリッド・ケスラー（ロザリンデ）

ピョートル・ミチンスキー（フランク）

アイグル・アクメチーナ（オルロフスキー公爵）

村上公太（アルフレード）

ルートヴィヒ・ミッテルハマー（ファルケ博士）

マリア・ナザロワ（アデーレ）

大久保光哉（プリント博士）

ベーター・ゲスナー（フロッシュ）

平井香織（イーダ）

新国立劇場合唱団（合唱）

東京シティ・バレエ団（バレエ）

札幌交響楽団（管弦楽）

市民交流プラザ事業部

主催事業

制作：新国立劇場

入場料：全席指定

S席16,000円 A席14,000円 B席10,000円

C席8,000円 D席5,000円 U25(D席)3,000円

入場者数：12月13日 634人

12月15日 450人

②新国立劇場バレエ団

「眠れる森の美女」

新規

昨年度の「くるみ割り人形」に続き、新国立劇場バレエ団の出演によるチャイコフスキーの三大バレエ公演シリーズ最後の作品となる「眠れる森の美女」を上演した。公演を支える助演の一部を道内からオーディションで選出し、地元とのコラボレーションも行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため当初は客席数を収容率の50%として発売したが、政府による緩和を受け、100%に変更し追加販売を行った。



撮影：ワイズフォトセレクション 木本忍

期 日：令和2年11月14日（土）、15日（日）

各日開演14:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌市、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市教育委員会

助 成：令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

芸術監督：吉田都

出 演：富田実里（指揮）

小野絢子／米沢唯（オーロラ姫）

福岡雄大／井澤駿（デジレ王子）

木村優里（リラの精）

本島美和（カラボス）

貝川鐵夫（国王）

関晶帆（王妃）

菅野英男（式典長カタラビュート）

新国立劇場バレエ団

札幌交響楽団（管弦楽）

入場料：全席指定

S席13,000円 A席10,000円 B席8,000円

C席6,000円 D席5,000円 U25(D席)2,000円

入場者数：11月14日 1,294人

11月15日 1,279人

<関連事業>

新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」

助演オーディション

新規

令和2年11月14日、15日に上演する、新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」の助演オーディションを、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、応募者各自が撮影した動画によるビデオオーディションとして行った。



撮影：ワイズフォトセレクション 木本忍

期 日：令和2年5月20日（水）～31日（日）

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

募集人数：①小姓役8人程度

②衛兵・伝令官等の立ち役10人程度

審査員：新国立劇場バレエ団スタッフ

参加料：無料

応募人数：30人

参加人数：27人

<関連事業>

新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」関連イベント バレエダンサーが語る！
 本当は深いバレエと表現のおはなし **新規**
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。



日 時：令和2年7月11日（土）開演19:00
 12日（日）開演14:00
 会 場：クリエイティブスタジオ
 主 催：札幌市、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 後 援：札幌市教育委員会
 出 演：本島美和（新国立劇場バレエ団 プリンシパル）
 米沢唯（新国立劇場バレエ団 プリンシパル）
 圓井晶子（新国立劇場バレエ団・研修所 バレエピアニスト）
 入場料：全席自由 一般 2,500円 U25 1,500円

<関連事業>

新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」
 クラスレッスン見学会
 新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」関連イベント。札幌市民交流プラザメンバーズ会員を対象に、本番直前の舞台上で行われる新国立劇場バレエ団によるクラスレッスンの見学会を開催した。



撮影：ワイズフォトセクション 木本忍

期 日：令和2年11月15日（日） 10:15~11:30
 主 催：札幌市、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
 会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
 出 演：新国立劇場バレエ団
 入場料：全席指定 500円
 入場者数：180人

③hitaruのひととき

市内中心部の地下鉄直結という優れた立地条件を活用し、料金設定をおさえ、親しみやすい選曲により、気軽に実演芸術に触れてもらう機会を提供した。

(1) 宇宙への招待 **新規**

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。



市民交流プラザ事業部

主催事業

期 日：令和2年9月19日（土） 開演17:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
協 力：友情の架け橋音楽国際親善協会
出 演：垣内悠希（指揮）
交響楽団はやぶさ（管弦楽）
特別講演：岩谷圭介（株式会社岩谷技研代表取締役/ふうせん宇宙旅行プロジェクト）

曲 目：ホルスト
組曲「惑星」作品32より 第4曲 木星
ラヴェル
ボレロ
＜岩谷圭介氏による特別講演＞
ドヴォルザーク
交響曲 第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

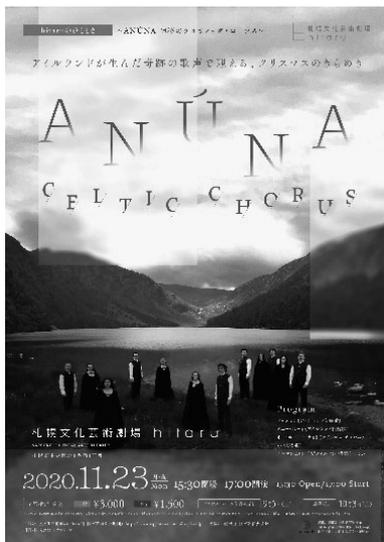
入場料：全席指定 一般3,000円 U25 1,500円

入場者数：－

(2) ANÚNA 神秘のケルティック・コーラス

新規

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。



期 日：令和2年11月23日（月・祝） 開演17:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：ANÚNA（合唱）
曲 目：ドゥラマン（アイルランド伝統歌）
ダニー・ボーイ（アイルランド伝統歌）
オー・ホーリー・ナイト（クリスマス・キャロル）
もののけ姫
エルサレム（17世紀アイルランド聖歌）ほか
入場料：全席指定 一般3,000円 U25 1,500円
入場者数：－

(3) 明和電機 ナンセンスマシーンコンサート

新規

オタマトーンなどユニークな楽器をはじめとする数々のナンセンスマシーンを生み出し、世界中でライブや展覧会を行う芸術ユニット・明和電機による公演を行った。日本の中小企業をイメージした制服姿で舞台に立ち、世の中の常識に囚われない自作の電動楽器で、公演を盛りあげた。



撮影：武田博治

期 日：令和3年1月31日（日） 開演14:00
会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
出 演：明和電機
曲 目：オープニング
パチコイ
ワンノートサンバ
一番ステキな体でいこう
小象の行進
マイ・ウェイ
パンチ君ダンス
不条理コーナー
サバオの歌

恋のエメラルド
ベロミン
トリウォーカーのテーマ
カナリア
麦の歌

明和電機名曲コーナー

オタマトーンのテーマ
ミッドナイトインイースター
お日さまみえたらふとんほして
飛び出せロマンス
エーデルワイス
イカりをあげよう

Call and Response
ギンギラギンにさりげなく
地球のプレゼント

バリバリコーナー

ジューリック
港のヨーコ横浜横須賀
傷だらけのローラ
SUSHI GO!
ツクババリバリ伝説

社歌

入場料：全席指定 一般3,000円 U25 1,500円

入場者数：698人

< 関連事業 >

「明和電機 キャラクター楽器の世界」展 **新規**

「hitaruのひととき ～明和電機 ナンセンスマシンコンサート～」の関連イベントとして、明和電機の生み出した様々な楽器を展示するイベント「明和電機 キャラクター楽器の世界」展をSCARTSコートにて開催した。



撮影：武田博治

期 日：令和3年1月27日（水）～31日（日）

1月27日（水）～30日（土） 10:00～20:00

1月31日（日） 17:00～19:00

会 場：SCARTSコート

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：合計1,280人

（4）華麗なるディーヴァの競演 **新規**

クラシック界の歌姫 森麻季と、ジャズ界の歌姫 ケイコ・リーの初共演となるコンサートを行った。国内外のファンを魅了する二人のディーヴァ（歌姫）が、クラシックとジャズの珠玉の名曲をお届けした。



撮影：武田博治

期 日：令和3年3月11日（木）開演19:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

出 演：森麻季（ソプラノ）

山岸茂人（ピアノ）

ケイコ・リー（ジャズ・ヴォーカリスト）

吉田サトシ（ギター）

曲 目：グノー

歌劇「ファウスト」より 宝石の歌

バッハ／グノー、シューベルト、マスカーニ
3つのアヴェ・マリア

ドビュッシー

「ベルガマスク組曲」より 第3曲 月の光
レハール

喜歌劇「メリー・ウィドウ」より

ヴィリアの歌

市民交流プラザ事業部

主催事業

ヨハン・シュトラウス2世

喜歌劇「こうもり」より 侯爵様、あなた
のようなお方は

ショパン

24の前奏曲 作品28より 第15番 変ニ長調
「雨だれ」

プッチーニ

歌劇「つばめ」より ドレッタの夢

プッチーニ

歌劇「ラ・ボエーム」より 私が街を歩くと
(ムゼッタのワルツ)

ジョン・レノン

Imagine

ザ・ビートルズ

Oh! Darling

Come Together

Q.ジョーンズ

One hundred Ways

荒井由実(松任谷由実)

卒業写真

C.ローパー

Time After Time

入場料：全席指定 一般3,000円 U25 1,500円

入場者数：699人

④共催事業の誘致

(1) モーリス・ベジャール・バレエ団

「バレエ・フォー・ライフ」 **新規**

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年9
月17日(木)に延期するも中止。

ロックバンド「クイーン」のヴォーカリスト、フレ
ディ・マーキュリーと名バレエダンサー、ジョルジュ・
ドンに触発されて誕生した本作品をスイスの名門バ
レエ団が上演。

期 日：令和2年5月26日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、北海道文化放送株式
会社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海
道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化
財団)

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：全席指定 S席15,000円 A席14,000円

B席13,000円 C席10,000円 D席7,000円

入場者数：-

(2) 第二回さっぽろ落語まつり

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年5
月28日(金)~30日(日)に延期。

落語家・三遊亭円楽がプロデュースし、2018年札幌
初開催の折に1万5,000人を動員した落語の祭典「さっ
ぽろ落語まつり」の第2弾。総勢30名の落語家が出演
し、札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール、共済ホー
ルの3会場で3日間、計15公演。

期 日：令和2年5月29日(金)~31日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール、共
済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞
社、道新スポーツ、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化
財団)

特別協賛：CO・OP 共済

後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市
教育委員会、日本経済新聞社

協 力：オフィスまめかな

入場料：全席指定 前売4,600円 当日5,000円

入場者数：-

(3) ミュージカル「ミス・サイゴン」 **新規**

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

昨年、好評を博した「レ・ミゼラブル」に続く大型
ミュージカル第2弾。市村正親らが主演。4日間、計
6公演。

期 日：令和2年7月3日(金)~6日(月)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、北海道文化放送株式
会社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海
道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化
財団)

特別協力：株式会社テレビ北海道、オンテナ事業部

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

入場料：全席指定 S席14,500円 A席11,000円

B席6,000円

入場者数：-

(4) 新春 落語名人会 in hitaru **新規**

落語協会会長・柳亭市馬や「さっぽろ落語まつり」をプロデュースする三遊亭円楽、桃月庵白酒といった各世代の名人が集結し開催する特撰落語会。

※出演を予定していた桃月庵白酒が新型コロナウイルス感染のため降板、三遊亭萬橋が代理出演。

期 日：令和3年1月24日（日）

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社、株式会社テレビ北海道

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 賛：CO・OP 共済、生活協同組合コープさっぽろ

出 演：三遊亭円楽

柳亭市馬

桃月庵白酒（代理出演：三遊亭萬橋）

柳亭市童

入場料：全席指定 4,400円 ペア券8,000円

入場者数：811人

3 普及・育成事業

先進の舞台芸術を広く市民に紹介するとともに、舞台芸術活動の将来を担う世代の育成を目的に、多彩な芸術文化作品の提供と、魅力的で芸術性の高い参加型事業を展開した。

① チェルフィッチュの〈映像演劇〉

「風景、世界、アクシデント、

すべてこの部屋の外側の出来事」 **新規**

演劇作家・チェルフィッチュ主宰の岡田利規と、舞台映像デザイナーの山田晋平が取り組む、新しい形式の演劇〈映像演劇〉を、札幌市民交流プラザでの滞在を経て制作し展示、上演した。



期 日：令和2年7月14日（火）～8月1日（土）

11:00～19:00

会 場：SCARTS コート

企画制作：株式会社 precog

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、一般社団法人チェルフィッチュ

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：芸術文化振興基金助成事業

協 力：札幌市図書・情報館、さっぽろ天神山アートスタジオ

作・演出：岡田利規

映 像：山田晋平

出 演：足立智充、椎橋綾那

入場料：無料

入場者数：971人

市民交流プラザ事業部

主催事業

②青少年向けバレエ鑑賞事業（配信）

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学2年生を対象に青少年向けバレエ鑑賞事業を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同事業のアーカイブ映像を編集し、作品内容の解説や劇場の紹介等を含む映像教材を新たに制作しYouTubeにて配信。応募のあった市内中学校にて映像を鑑賞し、総合芸術としてのバレエを楽しむ機会を創出した。



配信日時：令和2年10月1日（木）～31日（土）

会場：札幌市内各中学校

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

特別協賛：株式会社ニトリ

配信作品：「白鳥の湖」プロローグ付き第2幕
「ボレロ」

参加料：無料

参加学校数：7校

参加生徒数：453人

③クリエイティブスタジオ活用事業

市内文化芸術団体等との連携により、音楽・舞踊・演劇・伝統芸能など多様なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を市民へ提供し、文化芸術活動の活性化を促進した。

（1）クリエイティブスタジオ

Noism Company Niigata 実験舞踊 vol.2

「春の祭典」／「FratresⅢ」

新規

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。



日時：令和2年7月2日（木）、3日（金）

各日開演18:30

会場：クリエイティブスタジオ

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

演出振付：金森穂

出演：Noism 0, 1, 2

入場料：全席指定 一般4,500円 U25 3,000円

入場者数：—

(2) クリエイティブスタジオ

シネマシリーズ2 映画へと導く映画 **新規**

映画監督 入江悠が影響を受けた映画「駅馬車」「ディープ・インパクト」の上映と、特別講演として上映作品の解説や自身の作品にもたらした影響などを語った。



撮影：RYOICHI KAWAJIRI

期 日：令和2年7月18日（土）

①上映1「駅馬車 デジタル・リマスター版」

開演11:30

②上映2「ディープ・インパクト」

開演14:10

③入江悠監督 特別講演 開始17:15

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：小野朋子

出 演：入江悠（映画監督）

入場料：全席指定 上映前売当日とも各500円

特別講演 前売1,000円 当日1,500円

入場者数：①66人 ②58人 ③61人

(3) クリエイティブスタジオ

シネマシリーズ3 映画へと導く映画

映画監督 今泉力哉が影響を受けた映画「ステイキング」「リアリズムの宿」の上映と、特別講演として上映作品の解説や自身の作品にもたらした影響などを語った。



撮影：Hideshi Tsunematsu

期 日：令和2年9月22日（火・祝）

①上映1「ステイキング」 開演11:00

②上映2「リアリズムの宿」 開演14:15

③今泉力哉監督 特別講演 開演16:45

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：小野朋子

出 演：今泉力哉（映画監督）

入場料：全席指定 上映前売当日とも各500円

特別講演 前売1,000円 当日1,500円

入場者数：①74人 ②74人 ③81人

(4) クリエイティブスタジオ

シネマシリーズ1 映画へと導く映画

映画監督 黒沢清が影響を受けた映画「マリアンヌ」「パリの灯は遠く」の上映と、特別講演として上映作品の解説やロバート・ゼメキス監督作品のお話、自身の作品にもたらした影響などを語った。



撮影：RYOICHI KAWAJIRI

市民交流プラザ事業部

主催事業

期 日：令和2年11月3日（火・祝）

①上映1「マリアヌス」 開演12:00

②上映2「パリの灯は遠く」 開演15:00

③黒沢清監督 特別講演 開始18:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：小野朋子

出 演：黒沢清（映画監督）

入場料：全席指定 上映前売当日とも各500円

特別講演 前売1,000円 当日1,500円

入場者数：①136名 ②149名 ③168名

（5）地点「だれか、来る」

新規

現代演劇の最前衛ヨン・フォッセの名作「だれか、来る」を、独特の発話と抑揚で音楽劇とも評される手法で、国内外で注目度の高い「地点」を招へいし上演した。



撮影：RYOICHI KAWAJIRI

期 日：令和3年1月15日（金）、16日（土）

①1月15日（金） 開演19:00

②1月16日（土） 開演14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

作：ヨン・フォッセ

翻 訳：河合純枝

演 出：三浦基

出 演：安部聡子、石田大、小河原康二、窪田史恵、小林洋平、田中祐気

入場料：全席自由 一般4,000円 U25 2,000円

入場者数：①82人 ②100人

（6）クリエイティブスタジオ

All Sapporo Professional Actors Selection Vol.2「北緯43°のリア」

新規

北海道の内外で活躍するプロフェッショナルな俳優とスタッフによる演劇作品を、クリエイティブスタジオを活用し創作・発信する All Sapporo Professional Actors Selectionの第2回として、「北緯43°のリア」（W.シェイクスピア原作）を斎藤歩（札幌座）の脚本・演出で上演した。



撮影：高橋克巳

期 日：令和3年2月26日（金）～3月5日（金）

2月26日（金）①開演19:00

27日（土）②開演14:00、③開演18:00

28日（日）④開演14:00

3月1日（月）⑤開演19:00

2日（火）⑥開演14:00、⑦開演19:00

3日（水）⑧開演19:00

4日（木）⑨開演14:00、⑩開演19:00

5日（金）⑪開演14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：公益財団法人北海道演劇財団、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）、NPO法人札幌座くらぶ

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道放送株式会社、札幌テレビ放送株式会社、北海道テレビ放送株式会社、北海道文化放送株式会社、株式会社テレビ北海道、株式会社STVラジオ、株式会社エフエム北海道、株式会社エフエムノースウェーブ、株式会社エフエムとよひら、株式会社北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

出演：斎藤歩（札幌座）
 森上千絵（富良野GROUP）
 上總真奈（イレブンナイン）
 東李苑（クリエイティブオフィスキュー）
 藤尾仁志（クリエイティブオフィスキュー）
 納谷真大（イレブンナイン）
 川崎勇人（東京乾電池）
 泉陽二
 犬飼淳治（扉座）
 山野久治（風の色）
 小林エレキ（yhs）
 戸澤亮（クリエイティブオフィスキュー）
 清水友陽（劇団清水企画）
 磯貝圭子（札幌座）
 熊木志保（札幌座）
 常本亜実（札幌座）
 大森弥子（Takako Classical Ballet）
 梅原たくと（イレブンナイン）
 菊池颯平（イレブンナイン）

入場料：一般4,000円 学生2,000円 高校生以下1,000円
入場者数：①105人 ②163人 ③123人 ④182人 ⑤88人
 ⑥103人 ⑦83人 ⑧124人 ⑨146人 ⑩134人
 ⑪135人

**(7) Creative Opera Mix
 Vol.2 LOVE & TRAGEDY**

オペラの名曲を様々なアレンジにより演奏し、ダンスを加えた新感覚なパフォーマンス公演を開催した。昨年に引き続き新規創造事業として1年間の制作を行い、オペラの魅力に溢れた舞台芸術作品を上演した。

今回は新たにバリトン歌手を加え、新曲を多数取り入れた他、発光床・映像投射・照明からなる「電光ステージ」の開発や、音響の改善等、舞台技術をより増強しての実施となった。



撮影：Keigo Sadahisa (doppietta)

期 日：令和3年3月13日（土）、14日（日）
 13日（土） ①開演15:00、②開演19:00
 14日（日） 開演15:00
会 場：クリエイティブスタジオ
主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）
後 援：札幌市、札幌市教育委員会
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
 独立行政法人日本芸術文化振興会
出 演：川島沙耶（ソプラノ）
 大久保光哉（バリトン）
 福由樹子（編曲・ピアノ）
 DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST（編曲・DJ）
 SHOKO（振付・ダンス）
 折原寿一（ギター）
 斎藤正樹（コントラバス）
 蛇池雅人（サクソ・フルート）
 瀧本志保（ヴァイオリン）
 細川直来（ドラム）
 森田貴裕（エレキベース）

ダンス：Dance Studio mind（舞人）
 SHOKO、神田広典、TAKAYA、MIKU、YUKA、TAIGA
 伊藤未来、佐々木空翔、工藤阿子、佐藤千咲
 Fe. dance studio
 WAKU、SYUNA、遠藤理温
 DANCE STUDIO LoRe
 鈴木明倫

曲 目：スッペ『軽騎兵』より 序曲【Jazz Mix】
 ワーグナー『ワルキューレ』より「ワルキューレの騎行」【Club Mix】
 ヘンデル『リナルド』より「私を泣かせてください」【Jazz Mix】
 ヴェルディ『アイーダ』より「凱行進行曲」【Club Mix】
 マスカーニ『カヴァレリア・ルスティカーナ』より 間奏曲【Jazz Mix】
 モーツァルト『魔笛』より「復讐の心は地獄のようにわが胸に燃え」【Metal Mix】
 ヘンデル『セルセ』より「オンブラ・マイ・フ」【Healing Mix】
 バーンスタイン『ウエストサイド物語』より「トゥナイト」【Musical】
 ワーグナー『ローエングリン』より「婚礼の

市民交流プラザ事業部

主催事業

合唱】【80's Pop Mix】
ビゼー『カルメン』より「恋は野の鳥」<ハバネラ>【Hip Hop Mix】
ビゼー『カルメン』より「あなた方の勝利も祝して乾杯」<闘牛士の歌>【Hip Hop Mix】
ビゼー『カルメン』より「おい、カルメン!」【Club Mix】
モーツァルト『魔笛』より「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」【Straight Mix】
プッチーニ『トスカ』より「歌に生き、愛に生き」【Classic Mix】
レオンカヴァッロ『道化師』より「衣装をつける」【Mixture Rock Mix】
オッフェンバック『天国と地獄』より 序曲【Hip Hop Mix】

入場料：全席自由

一般 前売2,500円 当日3,000円

U25 前売1,000円 当日1,500円

入場者数：13日①79人 ②77人、14日84人

<配信事業>【有料アーカイブ配信】

Creative Opera Mix

Vol.2 LOVE & TRAGEDY

新規

Creative Opera Mix Vol.2 LOVE & TRAGEDYの3月13日公演を、5台のカメラにより収録・編集し、北海道テレビ放送による配信プラットフォーム「HTB on ライン劇場」にて有料配信を行った。



配信日時：令和3年3月19日(金)～25日(木)

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

映像制作：北海道テレビ放送株式会社

視聴料金：1,000円

視聴数：132回

④大学連携事業

札幌市内の大学と連携し、大学教授、声楽家、ピアニストなどが舞台芸術作品の魅力を分かりやすく解説し、本番の公演をお客様により楽しんでもらう企画として、市民が気軽に参加できる機会を提供した。

<連携事業>

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業 アートプログラム2020 第1回 バレエ「眠れる森の美女」見どころ・聴きどころ

第1回は、令和2年11月14日(土)、15日(日)開催 新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」公演に先立ち、本作品や作曲家チャイコフスキーにまつわるエピソード、また19世紀ロシア社会とロシア・バレエとの関係などにも触れながら、バレエの見どころ・聴きどころを分かりやすく解説した。



期日：令和2年11月5日(木) 開始19:00

会場：クリエイティブスタジオ

主催：札幌大谷大学

共催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

出演：千葉潤 (札幌大谷大学教授)

入場料：全席指定 500円

入場者数：60人

<連携事業>

札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru

連携事業 アートプログラム2020

第2回 オペレッタ「こうもり」

見どころ・聴きどころ

令和2年12月13日(日)、15日(火)開催 オペレッタ「こうもり」公演に先立ち、本作品について、レクチャーとミニ演奏を交えて、わかりやすく解説した。



期 日：令和2年12月3日(木) 開始19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌大谷大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

出 演：千葉潤 (札幌大谷大学教授)
針生美智子 (声楽家、札幌大谷大学准教授)
鎌倉亮太 (ピアニスト、札幌大谷大学准教授)

入場料：全席指定 500円

入場者数：73人

<連携事業>

「箱館戦争」シリーズ三部作一挙公演プロジェクト 北海道教育大学・実験劇場

第10回オペラ公演 マドリガーレ・オペラ

「箱館戦争」三部作 **新規**

平成27年より実施してきた北海道教育大学・実験劇場 マドリガーレ・オペラ「箱館戦争」三部作について、過去の記録映像の上映およびプレ・レクチャーという形で3日間にわたり開催した。また、令和3年2月1日から3月31日までの2ヶ月間、市民交流プラザの公式YouTubeチャンネルで公演の記録映像を公開した。



期 日：令和3年1月6日(水)～8日(金)

- ① I 「箱館戦争」
～榎本武揚と黒田清隆の戦い～
1月6日(水) 開演19:00
- ② II 「土方歳三最後の戦い」
～義に殉じた男～
1月7日(木) 開演19:00
- ③ III 「北海道開拓使」
～榎本武揚と黒田清隆の友情～
1月8日(金) 開演19:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：北海道教育大学

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

後 援：北海道、札幌市

制 作：北海道教育大学・実験劇場

ゲスト：広瀬るみ、二宮毅、石井正治

コーディネーター：塚田康弘

司 会：二宮英美歌、鴨川太郎

構成演出：塚田康弘

入場料：無料(全席指定)

入場者数：①42人 ②35人 ③39名

市民交流プラザ事業部

主催事業

4 交流事業

札幌文化芸術劇場 hitaru、クリエイティブスタジオ、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館など、さまざまなジャンルの事業展開が可能な札幌市民交流プラザの特性を活かし、多様な市民に参加・交流の場を提供して、多くの市民が文化芸術に触れることで施設のにぎわい創出につながる事業を実施した。

①PLAZA FESTIVAL 2020 札幌爆音映画祭

音楽ライブ用音響機材を使用し、繊細な大音響で映画を体験することにより、これまでにない体験を創造し人気を博している「爆音映画祭」を、昨年を引き続きクリエイティブスタジオにて実施した。



撮影：RYOICHI KAWAJIRI

期 日：令和2年10月2日（金）、3日（土）

10月2日（金）

①「ヘレディタリー／継承」開演19:00

10月3日（土）

②「ラ・ラ・ランド」開演11:15

③「セノーテ」（小田香監督トーク付）

開演14:30

④「マッドマックス 怒りのデス・ロード」

開演17:20

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

企画制作：boid、小野朋子

入場料：①②共に1,500円

③小田香監督トーク付 1,800円 ④500円

入場者数：①77人 ②78人 ③82人 ④76人

②PLAZA FESTIVAL 2020

HTB市民交流プラザ劇場

新規

令和2年日本民間放送連盟賞番組部門に選ばれた「おっばい2つとってみた ～46歳両側乳がん～」 「いまを生きるアイヌへ」など、札幌市民交流プラザ隣のHTBで放送された選りすぐりの作品を大画面で上映し、各回終了後には番組ディレクターによるトークをお楽しみいただいた。



撮影：RYOICHI KAWAJIRI

配信日時：令和2年10月5日（月）～7日（水）

10月5日（月）

①「おっばい2つとってみた

～46歳両側乳がん～」 開演11:00

②「タンチョウ ふたたび」

「いまを生きるアイヌへ」 開演14:00

10月6日（火）

③「タンチョウ ふたたび」

「いまを生きるアイヌへ」 開演11:00

④「ドキュメンタリー 札幌交響楽団

アルプス交響曲」 開演14:00

10月7日（水）

⑤「鉄道で行こう！留萌線の旅」

開演11:00

⑥「鉄道で行こう！ぐるり噴火湾 絶景

& 絶品探しの旅」 開演14:00

会 場：クリエイティブスタジオ

主 催：北海道テレビ放送株式会社、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

入場者数：①26人 ②11人 ③13人 ④26人 ⑤16人 ⑥13人

③PLAZA FESTIVAL 2020

「第2 マルバ会館 ○○な上映会」

会場を固定せず上映企画を実施するノマドシアター「第2 マルバ会館」が「○○な上映会」と題して、床に散りばめたフラフープで楽しくソーシャルディスタンスを保ち、くつろいだり声を出したりしてもよい和やかな環境で、ドイツ「オーバーハウゼン国際短編映画祭」のアーカイブから選りすぐりの6作品を特別上映。映像作家・大島慶太郎の進行で、作品をキュレーションしたドイツの中沢あきと中継を繋いでの作品解説も行われ、大人も子どもも楽しめる上映会となった。また、フラフープを小道具として距離を保ちながらプラザ内の各所で参加者をコマ撮りし、集めた映像で一本のアニメーションを制作する「第2 マルバ会館アニメ倶楽部 vol.2 ピクシレーション・ワークショップ」を実施。後半の3日間に完成作品をスタジオで展示した。



期 日：(1)上映会：

令和2年10月2日(金) 19:00~20:30、
10月3日(土) 14:00~15:30

(2) ワークショップ：

令和2年10月4日(日) 13:00~16:00

(3) ワークショップ完成作品上映：

令和2年10月5日(月)~7日(水)
11:00~19:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

企画制作：第2 マルバ会館

上映プログラム協力：オーバーハウゼン国際短編映画祭

入場料：無料

入場者数：(1) 100人、(2) 20人、(3) 240人

④PLAZA FESTIVAL 2020「細井美裕サウンドインスタレーション “Lenna”」

ボイス・アーティスト細井美裕が中心となり、2019年に制作されたサウンド音響作品“Lenna”を、複数のスピーカーを組み合わせた特殊な環境で再生。声が立体的に絡み合うことで、鑑賞者に、ひとりの声とは思えないような様々な質感を知覚させ、音源だけではなく空間特有の響きまでを作品の一部として展示した。今回は高さ10mのSCARTS モールCと、1階から繋がる吹き抜けの空間に合わせて、14chのシステムに作品を再構築したことにより、まるで建物そのものの歌声に包まれているような感覚を体験できるインスタレーションを展示した。



期 日：令和2年10月2日(金)~7日(水)

10:00~19:00

(毎時00分スタート、各7分45秒)

会 場：SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

宣伝美術：阿部寛文

入場料：無料

入場者数：2,600人

⑤PLAZA FESTIVAL 2020「MORIHICO.

Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ) × プラザマルシェ」

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、「人と人との繋がりが希薄になりつつあり、オンラインで何でも買ってしまう時代にこそ、作り手との交流を大事にしたい。」との思いから、作家と来場者との心の距離を少しでも近づけるべく、コーヒーブランド「MORIHICO.」がプロデュースするマルシェを開催した。個性豊かなハンドメイド品に、ヴィンテージ雑貨の数々、素朴な焼き菓子にクラフトビールまで、前半後半合わせて27店舗が集い、秋を楽しむための多彩なアイテムが揃う特別な6日間となった。

市民交流プラザ事業部

主催事業



期 日：令和2年10月2日（金）～7日（水）
11:00～19:00

※初日は12:00～、最終日は17:00まで

会 場：SCARTS モールA・B

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

プロデュース：MORIHICO.

出店者：草木染め布ナプキン uka・uka、
Beer Cellar Sapporo、小樽キャンドル工房、
jobin.、キンダーリーブ、ユーリ白樺かご、
HARUM、Liaison、クドウテット、MEDO、
pluie、vue./sinsin、
GALLERY PECORANERA、和田硝子器店、
小樽百貨 UNGA↑、こんの workshop、
Lambent、uquwartz ウクワルト、aobato、
気球堂、PEPOTARO、trois…、
vivre sa vie+mi-yyu、vaasä、antitese、
gentle tree、MORIHICO.

入場料：無料

入場者数：4,449人

札幌文化芸術交流センターに関する事業

1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

誰もが気軽に文化芸術に触れられる場や機会を創出し、都心部ににぎわいを生み出すような事業を展開した。

また、地元アーティストやアート以外の他分野との連携などにより、札幌ならではの特徴的な事業を構築し、札幌の魅力を高めつつ、SCARTSの認知度も高めてきた。

① ことばのいばしょ

新規

コミュニケーションの最も基本的な手段である「言葉」に着目し、言葉を作品のモチーフや手法とした同時代の表現を紹介した展覧会。「言葉」に対する鋭敏な感覚を持った作家たちに依頼し、折笠良によるアニメーション作品の上映や関連資料の展示、小森はるか+瀬尾夏美による映像や絵画・文章の展示と対話の場づくりのほか、「言葉と版画、本の森」では、札幌ゆかりの詩人・歌人と版画家のコラボレーション展示を行った。



期 日：令和2年8月22日（土）～9月22日（火・祝）
11:00～19:00

※「言葉と版画、本の森」は令和2年9月4日（金）～9月22日（火・祝）

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

SCARTS モール

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

作家：折笠良（美術家）、
小森はるか+瀬尾夏美（映像作家）、
大泉力也（版画家）、風間雄飛（版画家）、
土岐美紗貴（版画家）、初谷むい（歌人）、
文月悠光（詩人）、松浦進（版画家）、
三角みづ紀（詩人）、山田航（歌人）

入場料：無料

入場者数：6,576人

<関連プログラム>

1. 参加型パフォーマンス

「環 ROY—Fine Game」

期 日：令和2年8月22日（土） 14:00～15:30

会 場：SCARTS コート

出 演：環 ROY（ラッパー）

参加者数：35人

2. 折笠良アーティストトーク

期 日：令和2年8月22日（土） 17:00～18:30

会 場：SCARTS コート

出 演：折笠良（アニメーション作家）、
環 ROY（ラッパー）、
大島慶太郎（映像作家・聞き手）

参加者数：25人

3. 小森はるか+瀬尾夏美

アーティストトーク&ミニワークショップ

期 日：令和2年8月23日（日） 14:00～15:30

会 場：SCARTS モールC

出 演：小森はるか+瀬尾夏美

参加者数：12人

4. 三角みづ紀×吉田慎司「言葉と版画、本の森」トーク（YouTube 配信）

期 日：令和2年9月10日（木）より配信開始

会 場：SCARTS モールA・B

出 演：三角みづ紀（詩人）、
吉田慎司（中津箏職人・詩歌選定者）

5. SCARTSアートコミュニケーターによる鑑賞サポート

「対話による鑑賞」の手法を用い、来場者とアートコミュニケーターが共に作品を鑑賞し、気づいたことを語り合うことで、鑑賞体験を深めた。プログラム実施後には、アートコミュニケーターに対し、講師より講評が行われた。

期 日：令和2年9月20日（日）

①11:00～12:00、②14:00～15:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モールA・B・C

講 師：山崎正明（北翔大学教育文化学部教授）

参加者数：①10名、②10名

②SCARTS ステージシリーズ

新規

音楽やダンス、演劇など札幌ゆかりの優れた表現者による多様な実演芸術との出会いの場を作り、市民が気軽に舞台芸術に親しむ機会を提供した。また、財団と連携協定を結ぶ大学の若手音楽家に発表の機会を提供することにより、次世代を担う人材育成に寄与するコンサートを実施した。

(1) SCARTS ステージシリーズ vol.001 大学連携コンサート 北海道教育大学 岩見沢校「日本の四季に耳を澄ませて」

日本人作曲家による四季を感じられる曲をメインに進行するなど、市民に日本の近現代作曲家の作品の魅力をわかりやすく紹介、美しく迫力のコンサートとなった。公演の様子は、期間限定でプラザ You Tube チャンネルにて配信を行った。



期 日：令和2年8月4日（火） 14:00～14:40

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

市民交流プラザ事業部

主催事業

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

協 力：北海道教育大学岩見沢校

出 演：仲鉢莉奈（ピアノ）、竹田美奈子（ピアノ）

入場料：無料

入場者数：46人

曲 目：中野喜直「日本の四季」より
当摩泰久「浜辺の唄」「赤とんぼ」
矢代秋雄「ピアノソナタ」より
武満徹 「雨の樹素描Ⅱ－オリヴィエ・メシ
アンの追憶に－」

（2）SCARTS ステージシリーズ vol.002 沢則行「人形劇の惑星」

チェコを拠点に世界各国で活躍する人形劇師の沢則行による公演とトークを開催した。沢氏のスタンダード作品（星、豚、魚、たね、赤ずきん）を上演するなど、幅広い年代の市民に人形劇の魅力をわかりやすく紹介した。公演の様子は、期間限定でプラザ YouTube チャンネルにて配信を行った。



期 日：令和2年10月20日（火） 18:00～19:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

協 力：コンカリーニョステージワーク

出 演：沢則行（人形劇）

入場料：無料

入場者数：137人

（3）SCARTS ステージシリーズ vol.003 大学連携コンサート 札幌大谷大学

「繋がる作曲家たち～西洋の風を運んで～」

ピアノ独奏による世界各国の演奏をした。幅広い年代の市民に、世界の作曲家の魅力をわかりやすく紹介した。公演の様子は、期間限定でプラザ YouTube チャンネルにて配信を行った。



期 日：令和2年10月26日（月） 16:00～16:40

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

協 力：札幌大谷大学芸術学部音楽学科

出 演：信濃りかこ（ピアノ）

入場料：無料

入場者数：117人

曲 目：ドビュッシー「水の反映、運動」
リスト「メフィストワルツ」
ギヤ・カンチュリ「When almonds blossomed」
ショスタコーヴィチ「プレリュード（抜粋）」
シCHEDリン「フモレスケ」

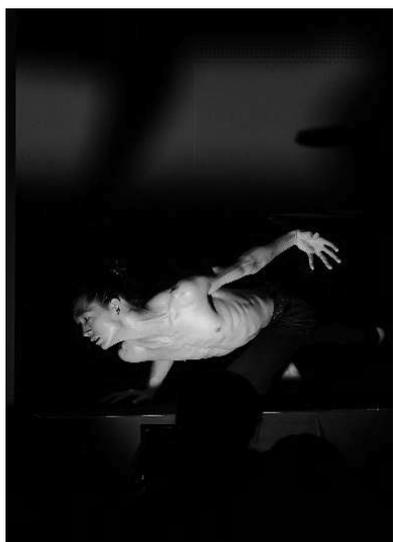
（4）SCARTS ステージシリーズ vol.004 鈴木明倫ダンス公演「Remember us」

札幌を拠点に首都圏で活躍するダンサー鈴木明倫とギタリスト山木将平によるコロナ禍での上演を考え、「自然への回帰」がテーマの作品を上演した。公演終了後にはアフタートークを開催し、幅広い年代の市民にダンスの魅力をわかりやすく紹介した。

期 日：令和3年2月25日（木） 17:00～18:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）



後援：札幌市
出演：鈴木明倫（ダンス）、山木将平（ギター）、
森嶋拓（トーク司会）
入場料：無料
入場者数：65人

③チェルフィッチュの映像演劇
「風景、世界、アクシデント、
すべてこの部屋の外側の出来事」 **新規**
<再掲> P143参照

④++A&T SCARTS ART & TECHNOLOGY
Project（プラプラットフォーム）
次世代の札幌の文化芸術の担い手である若い世代の
拠点として、アーティストと研究者と SCARTS、そ
してワークショップの参加者が共に創作の「場」をつ
くっていくプロジェクト。毎回「テクノロジー」に関
わるテーマを設定し、コラボレーションを行っている。
令和2年度は2組（谷口暁彦、CoSTEP）を招聘し、
プロジェクトを展開した。

（1）++A&T03 谷口暁彦×SCARTS×札幌
の中高生たち「バーチャル避難訓練」
ワークショップ①

++A&T 第3弾では、「バーチャル空間での表現」
をテーマに、メディアアーティストの谷口暁彦を講師
に迎え開催した。参加した中高生たちは、3Dスキャ
ナーや3Dシミュレーター、ゲームエンジン等を使用
し、今自分がいる現実の世界から、仮想の世界への避
難訓練を行い、仮想の世界と、仮想の自分自身をつ
くり上げた。



期 日：令和2年10月31日（土）～11月1日（日）
10:00～17:00
会 場：SCARTS スタジオ
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌
市芸術文化財団）
講 師：谷口暁彦（メディアアーティスト）
参加料：無料
入場者数：12人

（2）++A&T03 谷口暁彦×SCARTS×札幌
の中高生たち「バーチャル避難訓練」
展示

ワークショップに参加した中高生たちが行ったバー
チャル避難訓練の記録や、3Dプリンターで出力した
オブジェを、谷口暁彦の作品も含めたインスタレーショ
ンとして展示した。



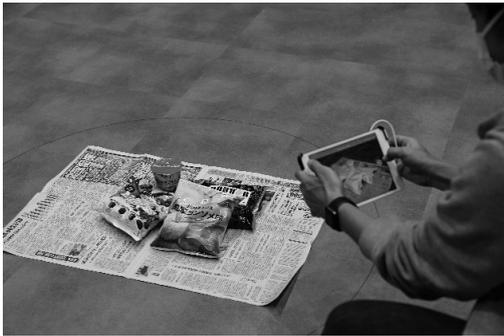
期 日：令和2年11月3日（火・祝）～12月13日（日）
11:00～19:00
会 場：SCARTS モールC
主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌
市芸術文化財団）
講 師：谷口暁彦（メディアアーティスト）
入場料：無料
入場者数：1,351人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(3) ++A&T03 谷口暁彦×SCARTS×札幌 の中高生たち「バーチャル避難訓練」 ワークショップ②

展覧会会期中に、年齢を制限しないワークショップを開催した。高校生から社会人までさまざまな人が参加した。ここで制作されたオブジェやバーチャル避難訓練の記録は後日展示にも反映された。



期 日：令和2年11月14日（土）・15日（日）

時 間：10:00～17:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

講 師：谷口暁彦（メディアアーティスト）

参加費：無料

参加者数：7名

(4) ++A&T04 CoSTEP×SCARTS×札幌 の高校生たち「バイオの大きさ／未来 の物語」ワークショップ

バイオテクノロジーに注目し、CoSTEP（北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究機関部門）との共催により開催した。参加者は2名の研究者とアーティストによるレクチャーやフィールドワークを通して、バイオテクノロジーの一端を学び、身近な世界に対する新たな視点を得て、私たちを取り巻く環境についての未来の「物語」を制作した。



期 日：令和3年1月8日（金）～10日（日）

10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：北海道大学大学院農学研究院、北海道大学北方生物圏フィールド化学センター

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

講 師：内海俊介（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター准教授）、松島肇（北海道大学大学院農学研究院講師）、久野志乃（アーティスト）

参加料：無料

参加者数：8人

(5) ++A&T04 CoSTEP×SCARTS×札幌 の高校生たち「バイオの大きさ／未来 の物語」ワークショップ成果展

1月に実施したワークショップの成果を紹介する展覧会として実施。参加した高校生たちが研究者やアーティストとの交流を通して得た新たな視点から綴った環境の未来についての「物語」、それらをもとにアーティストの久野志乃が制作したドローイング、映像作家の北川陽稔によるドキュメント映像等を展示するとともに、創作の背景となった2人の研究者による知見を紹介した。



期 日：令和3年3月12日（金）～4月18日（日）

11:00～19:00

会 場：SCARTS モールC

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：北海道大学大学院農学研究院、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

参加アーティスト：久野志乃（アーティスト）、北川陽稔（ビジュアルアーティスト）

入場料：無料

札幌文化芸術交流センターに関する事業
1 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

入場者数：990人（令和3年3月31日時点）

⑤連携事業

（1）第49回札幌文化団体協議会フェスティバル 展示部門

札幌市の芸術・文化の振興を目的に、札幌文化団体協議会との共催で、札幌を代表する作家の絵画や書、造形作品などの展示を開催した。また、「こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展」なども同時開催した。



期 日：令和2年8月14日（金）～16日（日）

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モールC

主 催：札幌文化団体協議会

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：1,055人

（2）NoMaps2020

札幌文化芸術交流センター SCARTS が持つ、企業と市民をつなげる役割を果たすべく、札幌・北海道を舞台に、カンファレンス・展示・イベント・交流・実証実験などを展開し、クリエイティブな発想や技術で、次の社会・未来を創るためのコンベンション「NoMaps」の会場のひとつとして、多様な事業を展開した。



期 日：令和2年10月14日（水）～18日（日）

11:00～21:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、
SCARTS モールA

主 催：NoMaps 実行委員会

連 携：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

参加料：無料

参加者数：【Conference】6,344人（57セッション、
最大視聴者数述べ再生回数10,000回以上）

【Exhibition】1,914人（来場者数）

（3）北大コーステップ「オープンウィーク」
札幌で出会う科学技術コミュニケーション

科学技術コミュニケーションの教育・実践・研究を行う北海道大学 CoSTEP との連携事業として実施。過去の暮らしにまつわる「物」の展示を通して新しい生活を考える「鈴木泰人×CoSTEP ソーシャルデザイン実習展」や、さまざまな計測機器を通して「単位」の決めり方を紹介する展示「当たり前の決めり方」のほか、哲学対話カフェ、オンラインでのサイエンスカフェなど、アートの視点を取り入れて科学技術を身近に感じるためのさまざまなイベントを実施した。



期 日：令和2年10月17日（土）～30日（金）

10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ、SCARTS モールC

主 催：北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

参加料：無料

参加者数：589人

市民交流プラザ事業部

主催事業

(4) さっぽろアートステージ 「キッズアートフェス」

「子どもの創造性」をテーマに、コロナ状況下でソーシャルディスタンスを守りつつ、子どもたちの自由な創造性を発揮してもらうため、事前の作品募集やZoomによるオンラインワークショップという形で企画した展覧会を開催した。4人のアーティストが子どもたちと一緒に様々な作品づくりを行って発表したほか、自身の創作作品も同時に発表した。



期 日：令和2年11月7日（土）～15日（日）
11:00～19:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS モール A・B

主 催：さっぽろアートステージ実行委員会（札幌劇場連絡会、札幌市中学校文化連盟音楽専門委員会、北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部、株式会社エフエム北海道、CAI 現代美術研究所、札幌駅前通まちづくり株式会社、札幌市民交流プラザ（札幌市芸術文化財団）

アーティスト：大黒淳一（サウンドアーティスト）、
クスマエリカ（写真家、美術作家）、
斉藤幹男（アーティスト）、
吉住弘之（アーティスト）

参加料：無料

参加者数：1,925人

(5) アートボランティアウィーク@SCARTS

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和2年11月24日（火）～29日（日）
10:00～17:00

会 場：SCARTS コート、SCARTS モール B・C

主 催：さっぽろアートボランティアネットワーク
(V-net)

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）



参加料：無料

参加者数：—

(6) Marché de GRENIER (マルシェ・ドゥ・グルニエ)

MORIHICOのジャーナル紙「With MORIHICO.」の軌跡とともに、最新号 (vol.11) の特集でもある「サステナブル (持続可能性)」をテーマとした、丁寧な生活に寄り添うものを集めたマルシェを開催した。



期 日：令和3年2月19日（金）～21日（日）
11:00～19:00

会 場：SCARTS モール A・B

主 催：MORIHICO.

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

出店者：ヤマ仕事 Outwoods、米飯製炭所、ブルードイヤモンドアーモンドグローブズ、オカモトヒデミ、DECOPACCHI、ORITO、jobin、ユーリ白樺かご、uquwaltz ウクワルトツ、MEDO、vue./sinsin、小樽百貨 UNGA↑、pluie、vivre sa vie-mi-yyu、HARUM、Liaison、草木染布ナプキン uka・uka、

MORIHICO.

参加料：無料

参加者数：1,403人

(7) 札幌国際芸術祭2020特別編

展示「SIAF2020ドキュメント」

中止となった札幌国際芸術祭（略称：SIAF）2020で展示が予定されていた作品を写真や貴重な資料と共に紹介したほか、SIAF2020特別編で製作した特設サイト「SIAF2020マトリクス」やアートメディエーションプログラムの体験コーナーを設置した。また、会場内にスタジオを併設し、連日オンラインによる特別プログラム「SIAF TV」の配信を行った。



期 日：令和3年2月5日（金）～2月14日（日）
10:00～19:00

会 場：SCARTS モールA・B、SCARTS コート

主 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市

協 力：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

助 成：令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

参加料：無料

参加者数：2,560人

SIAF TV 再生回数：9,840回（2021年3月14日時点）

(8) パッケージデザインコンテスト北海道2020

商品におけるデザイン活用や創造したデザインの知財保護の重要性を周知するとともに、素敵なデザインを創作したデザイナーと企業を繋げることを目的とした「パッケージデザインコンテスト北海道2020」を、札幌文化芸術交流センター SCARTS のデザイン・ものづくり事業の一環として開催した。

期 日：令和3年2月27日（土）～3月3日（水）
10:00～19:00

会 場：SCARTS コート



主 催：経済産業省北海道経済産業局地域経済部産業技術革新課知的財産室

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市

参加料：無料

参加者数：592人

(9) Family Art Day 2021 親子で楽しむアートワークショップ

子どもを対象とした文化芸術体験事業の一環として、2015年より親子向けワークショッププログラムを企画・運営している withart との共催により、参加者が芸術やデザインに触れ、作品や作家を介したコミュニケーションの場となる事業を開催した。

期 日：令和3年3月27日（土）～28日（日）

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：withart

共 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

特別協賛：大丸藤井セントラル



アーティスト：上ノ大作（陶芸家・造形家）、
シンヤチサト（イラストレーター・アーティスト）、高橋あおば（クレヨン画家）、
三木万裕子（建築家）

参加料：無料

参加者数：①ステンシルワークショップ「SCARTSに

市民交流プラザ事業部

主催事業

想像の森を作ろう！」9人

②造形ワークショップ「空中に毛糸でいたずら書きをしよう！」7人

③クレヨンワークショップ「オリジナルクレヨンをつくって、絵を描こう！」21人

④建築ワークショップ「ぼくの・わたしの家をつくろう！」21人

【SIAF ラボプロジェクトリーダー】

久保田晃弘（アーティスト／多摩美術大学教授）

【テクニカルディレクション】

岩田拓朗（SCARTSテクニカルディレクター）

入場料：無料

入場者数：1,937人

⑥Sapporo Winter Change 2021

Extreme Data Logger: 都市と自然の記憶

「さっぽろウインターチェンジ」は、札幌の冬を普段と違う見方でクリエイティブに楽しむプログラム。3年目の開催となる今回は、さまざまなデータを取得する装置「データロガー」と、それにより取得された環境データを鍵に、除雪作業によって路肩に生まれる雪の形状を彫刻に見立てた「除雪彫刻」などを展示し、厳しくも豊かな自然に囲まれた近代都市・札幌ならではの現代における表現や芸術の在り方を考える展覧会を行った。



期 日：令和3年2月5日（金）～14日（日）
10:00～19:00

会 場：SCARTS スタジオ、SCARTS モールC

主 催：札幌市、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）、札幌国際芸術祭実行委員会

協 力：札幌市雪対策室

助 成：令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創生事業

展覧会ディレクション：小町谷圭、平川紀道

制 作：【SIAF ラボプロジェクトディレクター】

石田勝也（札幌市立大学デザイン学部人間空間デザインコース講師）、小町谷圭（メディアアーティスト／札幌大谷大学芸術学部准教授）、船戸大輔（エンジニア／株式会社アートフル代表取締役）、平川紀道（アーティスト）

⑦SCARTS インフォメーションカウンター

窓口にスタッフが常駐し、市民交流プラザ及び市内他施設で行われる文化芸術イベントの周知や、市民交流プラザの施設利用に関する問い合わせ、文化芸術に関するイベントチラシの持ち込み等に対応した。

⑧文化芸術に関する情報発信

大通情報ステーションから提供される文化芸術に関する情報を元に、ウェブ内で「さっぽろ Art & Culture インフォメーション」を公開した。お気に入り登録や Google カレンダーに登録することで、自分好みのイベント情報を収集できる機能を持たせた。別ページの「SCARTS CROSS TALK」では、札幌にゆかりのあるアーティストや、文化に関わる活動をしている方をゲストに迎えて札幌文化芸術交流センタースタッフとの対談を公開した。

⑨西2丁目地下歩道映像制作 トークイベント

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ“西2丁目地下歩道”をスクリーンにした映像制作のプロジェクト。令和2年度からは、大木裕之『トシ シ』、野口里佳『虫・木の葉・鳥の声』の2作品の上映がはじまった。この2作品の完成を記念して、大木裕之と野口里佳による作品の紹介、制作プロセスについてトークイベントを開催した。



期 日：令和2年11月3日（火・祝） 14:00～16:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌

市芸術文化財団)

出演者：大木裕之（映画監督・美術家）、
野口里佳（写真家）、
松井茂（詩人・IAMAS准教授/聞き手）

入場料：無料

入場者数：30人

⑩PLAZA FESTIVAL 2020「第2 マルバ会館
〇〇な上映会」<再掲> P151参照

⑪PLAZA FESTIVAL 2020「細井美裕サウン
ドインスタレーション“Lenna”」<再掲>
P151参照

⑫ PLAZA FESTIVAL 2020「MORIHICO.
Marché de GRENIER（マルシェ・ドゥ・
グルニエ）×プラザマルシェ」<再掲>
P151参照

2 文化芸術活動支援事業

市民やアーティスト等の活動活性化やキャリアアップなどを念頭に、文化芸術情報を収集・発信できる場を提供するとともに、文化芸術に関する悩みなどの相談も受け付けた。

また、文化芸術に関わる方々を対象とした講座の開催や、アートと人々をつなぐボランティアな活動を支援するなどして、札幌で文化芸術活動が行いやすくなるような環境を整備した。

①対面相談サービス

アーティストや文化芸術団体を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、事前予約制で、アーティストや文化団体からの問い合わせ（活動場所、広報手段、助成金等）に対する情報提供やアドバイスをを行った。

利用件数：31件

②SCARTS オープンDAY

SCARTSでイベントを開催してみたい方やSCARTSでどんなことができるのか知りたい方の声に応えるため、SCARTS施設の利用検討をしている方向けの施設見学説明会を開催した。

（1）「ライブパフォーマンススタイル」の例 －SCARTS 活用方法見学会－

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

期 日：令和2年4月18日（土） 11:00～18:00

令和2年4月19日（日） 11:00～18:00

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：－

（2）「ものづくりのレシピ」 －SCARTS 活用方法見学会－

施設の様々な機能や備品などを展示し、3Dプリンターを用いたものづくり体験も実施した。

期 日：①令和2年6月6日（土）～7日（日）

11:00～18:00

②令和2年6月13日（土）～14日（日）

11:00～18:00

会 場：SCARTS スタジオ

市民交流プラザ事業部

主催事業



主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料／入退場自由

入場者数：①31人、②35人

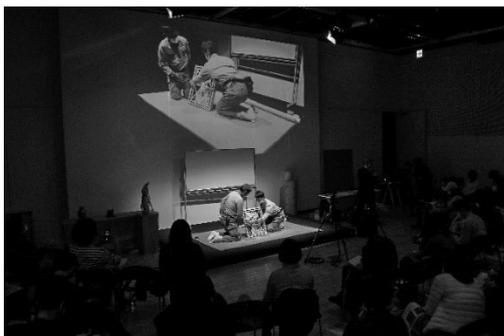
③SCARTS レクチャーシリーズ

アーティストを対象に、多彩な講師から、アーティストとして生きていくために必要な知識やスキルを学ぶシリーズ。

（1）SCARTS レクチャーシリーズ for Artist vol.3

「アートが無事に届けたい！アーティストのための美術梱包スキル講習」

vol.3では、なるべく身近で手に入れられる素材を使って、作品の形状に合わせた箱の作り方など、作品を安全に輸送できるように梱包する技術を実践的にレクチャーした。



期 日：令和2年12月13日（日） 13:30～17:30

会 場：SCARTS コート

主 催：札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：なえぼのアートスタジオ

講 師：日本通運株式会社 札幌支店

入場料：無料

入場者数：50人

④アートコミュニケーション事業

札幌市民交流プラザを拠点に、アーティストや文化芸術に関わる専門家、SCARTSのスタッフとともに「市民とアートのつなぎ手」としてボランティアな活動を展開するSCARTSアートコミュニケーターに対する講座を行うとともに、実践活動や読書会、勉強会など自主的な活動に取り組んだ。



（1）講座

1. アートコミュニケーターを知る

期 日：令和2年6月7日（日） 10:00～15:00

会 場：控室403・404、オンライン講座

講 師：伊藤達矢（東京藝術大学美術学部特任准教授）
樋泉綾子（札幌市民交流プラザ SCARTS キュレーター）

2. 作品を見て言葉にしよう【概要編】

期 日：令和2年6月13日（土） 10:00～15:00

会 場：SCARTS スタジオ、オンライン講座

講 師：福住廉（美術評論家）

3. 作品を見て言葉にしよう【実践編】

期 日：令和2年7月11日（土） 10:00～15:00

会 場：控室403・404、オンライン講座

講 師：福住廉（美術評論家）

4. 仲間を知る

期 日：令和2年8月1日（土） 10:00～15:00

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：納谷真大（ELEVEN NINES/劇作家・俳優）

5. 作品を鑑賞するとは？

期 日：令和2年8月15日（土） 10:00～15:00

会 場：控室403・404

講 師：山崎正明（北翔大学教育文化学部教授）

6. 鑑賞サポートプログラムに向けて（実践講座）

期 日：令和2年9月5日（土） 10:00～15:00
 会 場：控室403・404
 講 師：樋泉綾子（札幌市民交流プラザ SCARTS キュレーター）

7. 「芸術祭」ってなんだろう①

期 日：令和2年9月12日（土） 10:00～15:00
 会 場：控室403・404
 講 師：細川麻沙美（札幌国際芸術祭実行委員会事務局統括マネージャー）、漆崇博（札幌国際芸術祭実行委員会事務局マネージャー）、松本知佳（札幌国際芸術祭実行委員会事務局マネージャー）、田村かのか（札幌国際芸術祭2020コミュニケーションデザインディレクター）

8. 札幌国際芸術祭について

期 日：令和2年9月19日（土） 10:00～15:00
 会 場：ミーティングルーム1・2
 講 師：細川麻沙美（札幌国際芸術祭実行委員会事務局統括マネージャー）、漆崇博（札幌国際芸術祭実行委員会事務局マネージャー）、松本知佳（札幌国際芸術祭実行委員会事務局マネージャー）、田村かのか（札幌国際芸術祭2020コミュニケーションデザインディレクター）

9. ワークショップでつくる学びの場

期 日：令和2年10月10日（土） 10:00～15:00
 会 場：控室403・404、オンライン講座
 講 師：館野泰一（立教大学経営学部助教）

10. 芸術祭ってなんだろう②

期 日：令和2年11月7日（土） 10:00～15:00
 会 場：控室403・404、オンライン講座
 講 師：熊倉純子（東京藝術大学大学院教授）

11. グッドミーティング

期 日：令和3年2月28日（土） 10:00～15:00
 会 場：控室403・404、オンライン講座
 講 師：青木将幸（青木将幸ファシリテーター事務所代表）

（2）実践活動

1. 「ことばのいばしょ」鑑賞サポートプログラム＜再掲＞ P.154参照

2. あなたと私のことばのセッション

「ことばのいばしょ」展の関連プログラムとして、小森はるか+瀬尾夏美による「コロナ対話の広場」を会場に、来場者との対話を目的とする集まりを開いた。

期 日：①あなたと私のことばのセッション
 ～天使のぬり絵日記編～
 令和2年9月21日（月）、22日（火・祝）
 各11:00～13:00
 ②あなたと私のことばのセッション
 ～カードトーク編～
 令和2年9月21日（月）、22日（火・祝）
 各14:00～14:30／15:00～15:30

会 場：SCARTS モールC

3. SIAF2020ドキュメント、さっぽろウィンターチェンジ2020 鑑賞サポート

展覧会により親しんでもらうことを目的に、「SIAF2020 ドキュメント」展、「Sapporo Winter Change 2021 Extreme Data Logger 都市と自然の記憶」の会場で、SCARTS アートコミュニケーターとSIAF部のメンバーが来場者に対して展示内容の案内を行った。

期 日：令和3年2月7日（日）、11日（木・祝）、13日（土）、14日（日） 各14:00～17:00
 会 場：SCARTS コート、SCARTS モールA・B・C

（3）鑑賞レポート

SCARTS アートコミュニケーターがそれぞれに鑑賞した展覧会やコンサート、映画、演劇などについてレポートを執筆し、ウェブ上の「鑑賞レポート」で公開した。

期 日：通年

（4）募集説明会

SCARTS アートコミュニケーター3期生の募集説明会として、ガイダンスとトークセッションを行った。

期 日：令和3年1月23日（土） 14:00～16:30
 会 場：オンライン（Zoom 使用）
 登壇者：伊藤達矢（東京藝術大学美術学部特任准教授）
 樋泉綾子（札幌市民交流プラザ事業部 SCARTS キュレーター）

市民交流プラザ事業部

主催事業

アートコミュニケーター4人

参加者数：45人

⑤公募企画事業

(1) CE: Meets ライブクラフト

～ダンボールハウスバトル～

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期。

期 日：①ダンボールハウスバトル（公開制作）

令和2年5月16日（土）～17日（日）

②ダンボールハウス作品展示

令和2年5月18日（月）～20日（水）

③ダンボール美術館

令和2年5月16日（土）～20日（水）

④ダンボール美術館ワークショップ

令和2年5月16日（土）～17日（日）

会 場：SCARTS スタジオ、SCARTS モールC

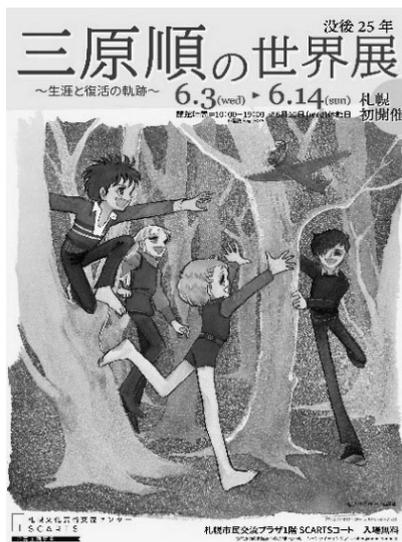
主 催：ドラマチッククリエイション&エンターテイメント企画×フリークリエイイト機構 Peek-a-Boo!、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：－

(2) 三原順の世界展～生涯と復活の軌跡～

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度に延期。



期 日：令和2年6月3日（水）～14日（日）

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ

主 催：ムーンライティング、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

入場料：無料

入場者数：－

(3) 中島洋 市民参加型アートプロジェクト「記憶のミライ」

昔の札幌を記録した8ミリフィルムを募集し、市民から247本が集まった。そこに映された風景や文化、営みの知恵を次世代へつなぐための芸術表現として、約5時間分を選びデジタルに変換・編集したものを、4つのスクリーンで囲まれた部屋に投影。中央の水槽にも水滴を落としながら映像を投影した。さらに、古い8ミリカメラや映写機材を閲覧できるコーナーも設置した。



期 日：①展示：令和2年7月11日（土）～20日（月）
11:00～19:00

②トークイベント：令和2年7月11日（土）
18:00～

会 場：SCARTS スタジオ

主 催：中島洋、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

協 力：井上大介、小松大賀、中島ひろみ、中島彌生、中野均、松塚典子、丸田知明、山本敏、池田工機、シアターキノ、3KG、登別映像機材博物館、株式会社プリズム、株式会社ユニプラス、8ミリフィルムをご提供頂いた数多くの市民の皆さん

入場料：無料

入場者数：810人

(4) 祝祭・モーツァルト in 北海道2021

モーツァルト音楽啓発活動を通して地域で創られる音楽文化発展に寄与する事を目指し、海老澤敏氏によるビデオレクチャーの上映や、モーツァルトに関する楽譜や資料の展示を行った。また、館内の札幌市図書・情報館、カフェ、レストランでの特別企画を通して、さまざまな視点や感覚でモーツァルトを楽しめる2日間とした。



期 日：①海老澤敏ビデオレクチャー

「北辺のモーツァルト」

令和3年3月30日（火）

①15:00～15:40、②19:00～19:40

令和3年3月31日（水） 15:00～15:45

②展示「海老澤敏コレクション& N.ザスロウ監修コレクション展」

令和3年3月30日（火）

①11:00～14:45、②15:40～18:45

令和3年3月31日（水） 11:00～14:45

会 場：SCARTS コート

主 催：北海道モーツァルト協会、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）

オフィシャルパートナー：伊藤メンタルクリニック、いわさか歯科医院、宝林寺、はまだ内科医院

後 援：日本モーツァルト研究所、イタリアモーツァルト協会、北海道、札幌市

協 力：札幌市図書・情報館、株式会社アトリエ・モリヒコ、北海道教育大学・実験劇場

講 師：海老澤敏（日本モーツァルト研究所所長、ザルツブルク・モーツァルテウム財団名誉財団員）

入場料：無料

入場者数：190人

③ 文化芸術に関する調査研究事業

文化芸術活動を発展させるうえで欠かせない、国や他都都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。

また、SCARTSにおいて実施してきた事業を中心とした、これまでの取り組みに関するデータや記録などを、活用しやすい形で整理・保存した。

① 調査研究

「アーカイブ」をテーマに、札幌市民交流プラザにおける事業アーカイブにとどまらず、市内で文化芸術活動に携わる人が活用できるアーカイブの展開についての基礎的調査を実施。全国の文化施設およびリサーチセンター等における文化芸術に関するアーカイブ事業について、前年度の委託調査結果をふまえながら、新たに4施設に対してヒアリング調査を実施した。

② SCARTS レポート

新規

SCARTSの年間の活動を記録し、広く公開することにより、SCARTSの活動を周知し、市民の施設利用ニーズ、相談ニーズの掘り起こしにつなげることを目的に記録集を発行する。活動記録にとどまらず、SCARTSで行った講座やトークイベントの記録等を掲載し、市内のアーティストや文化団体等の活動にも役立つ内容とした。令和2年度は、平成30年度および令和元年度分の活動記録集とした。

広報・利用促進に関する事業

1 広報

①事業広報との連携強化

公演・イベントの周知、チケット販売促進や、施設入館者数の目標達成を目指し、情報誌等の印刷物やホームページ、SNS等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

(1) 各種パブリシティの活用及びメディア対応

プレスリリースやメディア対応等を積極的に行い、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、ウェブメディア等の各種媒体を活用した広報活動を展開し、事業周知とチケットセールスの促進を図った。

(2) 地下鉄パンフレット広告

主要駅の地下鉄フリーパンフレットコーナーにて、情報誌「WAVE TIMES」や「PLAS」、主催公演チラシ等を配架した。

(3) 協賛広告枠の活用

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー企業の広告協賛等を活用し、地下鉄大通駅コンコース及び地下街オーロラタウン、丘珠空港、市内大型スーパーマーケット、路線バス車内等において動画の放映やポスター広告の掲示等を行った。

②広報印刷物の制作

(1) 情報誌「WAVE TIMES」

札幌市民交流プラザの情報誌「WAVE TIMES」を4回（5月、8月、11月、2月）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ送付したほか、公演・イベント会場等でも広く配布した。また、初の読者アンケートを行い、読者傾向を把握するとともに、読者及び来館者等からの意見・感想をいただいた。

(2) イベントスケジュール冊子「PLAS」

札幌市民交流プラザを構成する3施設の公演・イベントを掲載するスケジュール冊子「PLAS」を6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月の各月20日頃）発行し、区役所等の市内公共施設や関係団体へ配布した。

(3) 「創成おさんぽMAP」

近隣地域のにぎわいを醸成するため、メンバーズ会員向け特典提供店を紹介する地図形式の冊子をB3判ジャバラ折B6仕上げで作成し、メンバーズ（DM会員）に送付したほか、協力店舗やプラザ館内各所で配

架した。

③ホームページの改善・SNSの活用

ホームページを通じて、主催事業や貸館公演などのイベント情報を随時発信し、広く札幌市民交流プラザの周知を図るとともに、英語ページも作成し、外国人向けに情報発信を行った。

また、Twitter、FacebookといったSNSも活用し、即時性のある情報を発信。ウェブアクセシビリティへの対応にも留意し、JISX8341-3:2016の適合レベルAA準拠を維持した。

2020年度公式ホームページアクセス数：664,937件

2020年度札幌市民交流プラザメンバーズホームページアクセス数：76,286件

2 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、地元興行主との情報交換を密にするほか、「ご存じですか？プラザの貸室いろいろ」を改訂作成・配布して会議や練習での利用を促した。

②会員制度の運営

主催公演のチケット先行発売や公演情報の提供などを特典とする会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」を運営し、2020年3月末までにWEB会員27,979人、DM会員877人、計28,856人の会員を集めた。

会員向けサービスとしては、以下のものを実施した。

- ・メールマガジン配信（WEB会員向け。原則1ヶ月に2回）
- ・ダイレクトメール送付（DM会員向け。原則奇数月）
- ・hitaru 主催公演のチケット先行発売
- ・プラザ内カフェ・レストランでの優待
- ・近隣のホテル・飲食店等での各種優待
- ・リハーサル見学（令和3年2月19日（金）「蝶々夫人」）の実施

※施設見学会および避難訓練コンサートについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため不開催

③協賛制度の運営

札幌文化芸術劇場 hitaru の主催共催事業の充実を目的とする「hitaru オフィシャルスポンサー」制度を運営。

2020年度のスポンサーとして、法人108社、個人61人、計169件（1億207万円）の協賛を獲得した。

④クリエイティブスタジオ見学会

札幌市民交流プラザの施設について興味関心を喚起し、多くの方に利用していただくことを目的として、クリエイティブスタジオ及び控室301を出入り自由として開放し、備付備品の紹介や、舞台技術者と演出について直接相談できる場を提供するクリエイティブスタジオ見学会を実施した。

期 日：令和2年4月16日（木）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和2年7月16日（木）

令和2年11月19日（木）

令和3年1月19日（火） 計3回

会 場：クリエイティブスタジオ

参加費：無料

総入場者数：81名

市民交流プラザ事業部

主催事業

⑤公演再開に向けたテストコンサート

「ともそう TOMORROW」 **新規**

新型コロナウイルス感染拡大による休館を経て、劇場での公演再開に向けて、札幌市民交流プラザメンバーズWEB会員限定のテストコンサートを実施した。

入場時にサーモグラフィでの体温測定や非接触を前提とした受付方法の導入、休憩時の混雑緩和対応、アナウンスによる分散退場など、感染防止対策を行った。なお、コンサートの様子は札幌市民交流プラザ公式YouTubeチャンネルでも公開した。



期 日：令和2年7月3日（金） 開演18:00

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

出 演：第1部

川島沙耶（ソプラノ）

福由樹子（ピアノ）

按田佳央理（フルート）

第2部

河野祐亮ピアノトリオ

河野祐亮（ピアノ）

座小田諒一（ベース）

木下晋之介（ドラム）

入場料：全席指定 無料

入場者数：263人